

中土佐町社協だより

ふくしの チカラ

夏号

2024年7月



あったかふれあいセンターまんまるでの様子…関連ページ P2-3
利用者さんと職員と一緒に野菜を育てています。

Contents

- ・シリーズ社協のことおしえて①『あったかふれあいセンター』・・・・・・・・・・ P2-3
- ・つどい処防災新聞〔令和6年度第2回〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4
- ・中土佐町福祉まちづくり施設『火災避難訓練の様子について』・・・・・・・・ P5
- ・生活福祉資金貸付金（新型コロナウイルスの影響による特例貸付）返済免除申請のお知らせ・ P6
- ・令和5年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会 事業・決算報告 ・・・・・・・・ P7
- ・社協会費のお願い/ご寄付のお礼等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8

社協のこと

あったかふれあいセンター



あったかふれあいセンターは県内に55カ所あり、対象者を限定せずにどなたでも利用ができる場所です。中土佐町には、久礼地区の『まんまる』、上ノ加江・矢井賀地区の『寄り家』、大野見地区の『ほのぼの大野見』の3カ所のあったかふれあいセンターがあり、それぞれ地域に応じたプログラムを実施し、コミュニティの場を作ったり多世代の交流を広げたりする取組を進めています。

町内3カ所に【集いの場】があり、どなたでも自由に出入りができ、過ごし方も自由です。ゆっくりお茶を飲みながらの談笑や無理のない体操、手芸や工作、大勢での賑やかな昼食会もあります。



毎日を元気に過ごすための秘訣は、出かけられる場所や毎日の用事をつくることだそうです。各地域のあったかふれあいセンターを皆さんの出かける先のひとつにして健康づくりや生きがいづくりに役立てて欲しいです。また趣味、特技を活かした楽しみを提案してくれる方も大歓迎です！お近くのあったかふれあいセンターに気軽にお越しください。

開所日
月・火・木・金
9時～16時

久礼「まんまる」(こどもセンター内) Tel 52-2258
上ノ加江「寄り家」 Tel 54-0335
大野見「ほのぼの大野見」(保健福祉センター内) Tel 57-2217

各あったかのイチ押し★プログラム

寄り家イチ押し！



季節に応じて、折り紙や手芸・調理など楽しんでいます。出来上がった作品を集いの場にたくさん飾っていますので、のぞきにきてください。

カラオケの日

毎月第4金曜日 10:00～
大画面に歌詞を映し出すので、歌詞を覚えてなくても安心して
気持ち良く歌えます♪
会場ボランティアさん大募集！



ほのぼの大野見イチ押し！

まんまるイチ押し！



介護予防プログラム「まんまるで1歩」
第1火曜日9時半～11時
理学療法士による講話や簡単な体操、
レクリエーションに楽しくゆったりと参
加でき、定期的にその効果を測ります。

まんまる 野村 寄り家 大内 ほのぼの大野見 池田

スタッフが紹介します

こんな対応もしています



イベントへの誘いがけや、地域の皆さんの体調確認のため、訪問を行っています。



生活支援

簡単な携帯電話の操作など、お困りの事があれば、できる範囲でお手伝いします。



送迎

来所時に送迎が必要な方は、ご相談ください。

地域のみなさんの声



ほのぼのに来たら誰かがおるき、色んな話をするのが一番楽しい。農作業が忙しくない時期は、コミバスに乗って遊びに来よう。

寄り家では、体操をしたり、手づくりで小物を作ったりして楽しんでいます。いつも楽しみに来ています♪



まんまるで話をするうちに仲良くなりました。毎日まんまるで会いますが、電話も毎日しています。

実はわたし○○なんです



スティールパンをやっています。上達はゆっくりですが、バンドの仲間たちといろいろな場所に行き演奏するのはとても楽しいです♪
(ほのぼの大野見 池田)



土いじりが大好きで、帰宅後や休日は家庭菜園を楽しんでいます。夏野菜を栽培していますが、ついつい作り過ぎてしまって家族からブーイングが来ますが我が家はみんな野菜好きです。
(まんまる 野村)



猫を飼っています。12歳のおじいちゃんニャンコですが、まだまだ元気いっぱい！家族みんなの癒しです♪
(寄り家 大内)

～中土佐町福祉まちづくり施設～

中土佐町福祉まちづくり施設では、毎日、いちょうの丘笹場、デイサービスセンターのじぎくから、利用者さんの元気な声、大きな笑い声が聞こえております。

職員がまだまだ至らない点が多く、ご不便をおかけしている事も多々ありますが、利用者さんと共に毎日笑顔で楽しく過ごせるように日々奮闘しております。

～火災避難訓練～

中土佐町福祉まちづくり施設の火災避難訓練を5月29日水曜日に行いました。当日は天気も良く、歩行に不安がある利用者さんは車椅子を使用して避難するなど職員と利用者さんで協力して各個人にあった避難方法で無事に全員避難ができました。

施設内で火災を起こさないことが何より大切ですが、万が一、火災になった時に慌てず落ち着いて避難が出来るように様々な事態を想定し行動できるよう職員、利用者さんと共に訓練を継続していききたいと思います。又、今年度は地震避難訓練や地域住民さんとの合同での避難訓練の実施を予定しておりますので、今後も様々な訓練を職員、利用者の皆さんと一緒にいき、災害を乗り越えられるよう備えていききたいと思います。

【参加利用者の声】

- いちょうの丘笹場利用者：「急にベルが鳴ったき、びっくりしたけど、頑張って逃げれた。」
- いちょうの丘笹場利用者：「しんどかったけど、逃げた、逃げた。また、やらないかんと思う。」
- のじぎく利用者：「今日は初めてやったけど職員さんが手を引いてくれたき、大丈夫やった。」
- のじぎく利用者：「歩いては避難をようせんけど職員がやさしく車椅子で連れて行ってくれたき、安心して避難できた。」

【訓練の様子】



火災通報装置にて通報



利用者さんと一緒に避難



中土佐分署より総評



消火器を使った訓練

4月22日

◎つどい処避難訓練◎

笛を吹いて助けを呼んだが、音が小さく、みんなに伝わらなかった。速く逃げるためには「手引きをしてもらいたい」と自分からきちんと伝えていけるようにしたい。



歩くのが大変な人のために、車イスを使ったり、先に避難したりなどの練習をしたらいいね。



今回の訓練は、迅速な自力避難が難しい方(視覚障害・歩行が苦手な人)への工夫を考える機会となりました。災害時に起こる状況を想定して、様々なパターンで訓練をしていきます。

「みんなで協力して安全に速く避難できる」を意識して取り組みました。

つどい処では、「自分の命は自分で守る、大災害時に備えよう」と定期的な避難訓練や防災の学びを行っています。本年度も、つどい処の防災活動記録を掲載していきます。

誰もが取り残されなかったための防災

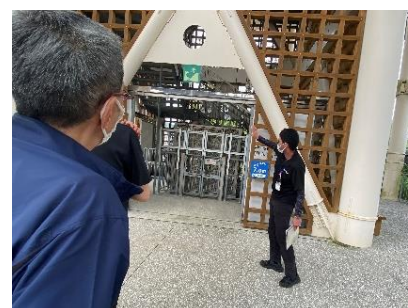
つどい処防災新聞

令和6年度
第2回

5月30日

◎防災学習～避難タワーを知ろう◎

海に近いタワーに向かって逃げるのは抵抗があったけど、タワーの2階で16mもあるのなら少し安心できるかもしれん。



このスペースに毛布や非常食の備蓄が400人分あるのは驚いた、安心できる。



思っていた以上にタワーの土台はしっかりしているんやね、崩れる心配はなさそうだ。

これまでの避難訓練は、久礼小学校への避難を想定して行っていましたが、もし建物からの避難に時間がかかった時は、もう1つの避難場所として近くにある1号機避難タワーへ逃げる必要があります。しかし、海に近い避難タワーに逃げることに抵抗がある方が多いため、学びの機会をつくりました。津波に巻き込まれない高さや耐震性、たくさんの方が避難できる備えを知り、命を守るための新たな避難場所として考えることができました。

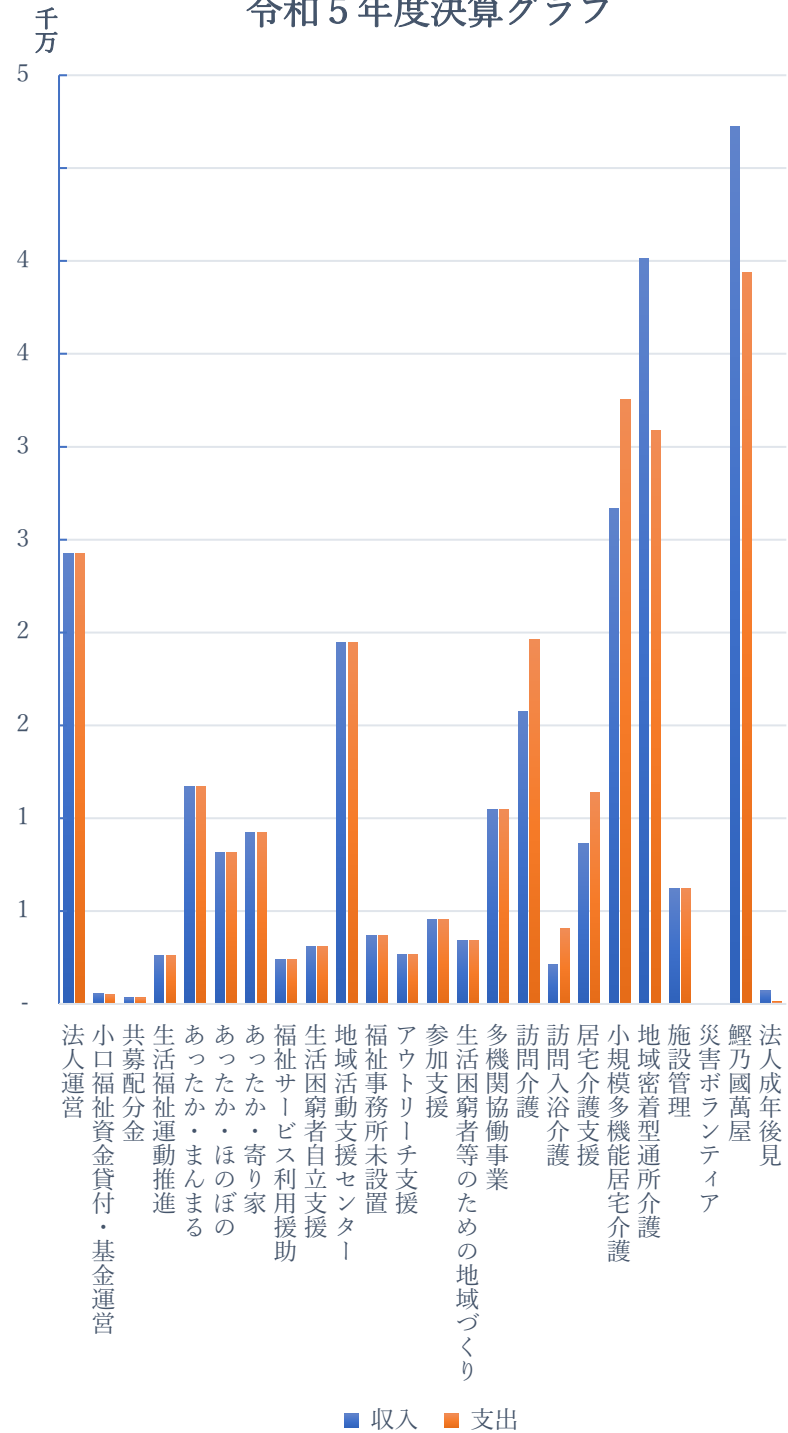
つどい処の防災活動では、災害時に命を守るために、状況に応じた安全・迅速な避難行動がとれるよう継続して実施し、各々の更なる防災意識の向上につなげていきます。



中土佐町役場岩本さんに「避難タワー」の仕組みや安全性を学ぶ防災学習を行いました。

令和5年度 中土佐町社協の事業・決算報告

令和5年度決算グラフ



《 事業報告 》

介護保険事業では、年間を通して利用者数が伸びず当初の計画の人数を達成できていない事業もあり、収支もマイナスの状況が続いています。これまでも事業の在り方について協議してきましたが、人材確保が難しく事業によっては廃止も視野に入れ調整している現状です。

就労継続支援B型事業所においては、事業の方向性に関して協議を重ね、主たる事業に代わる新規事業として農福連携について試行的に取り組んできました。6年度も関係機関との協議を続けながら、取り組みについて模索していきます。

「第3期地域福祉計画」は、進行管理事務局会(行政・社協)で定期的に把握や点検を行うとともに年1回の推進会議で取り組み報告を行っています。また地域アクションプランでは、「地域ふくし活動推進委員会」が中心となり、数年ぶりに地域福祉活動同窓会を開催しました。他市町の取り組みや町内各地域の取り組みを学び合いました。災害に強い地域づくりや福祉教育の推進、多機関協働による課題解決体制の強化など社協の担う役割は多岐にわたりますが職員が一丸となり取り組んでいます。

《 決算報告 》

令和5年度は当期活動増減差額が1,157,314円で、令和4年度決算(▲8,421,257円)と比較して957万円ほど増加し、黒字に転じることができました。

そして、法人の本来の収益の増減を示すサービス活動増減差額は1,871,752円で、令和4年度決算の▲8,930,651円と比較して1,080万円の増加となりました。しかし、介護保険事業のサービス活動増減差額は▲3,236,661円で前年度から比較して319万程圧縮できたものの通所介護事業以外は、これまで同様赤字を解消することができませんでした。

令和5年度の法人全体の事業活動収支(損益)状況

	収 入	支 出	当期活動増減差額
令和5年度	247,070,767	245,913,453	1,157,314
令和4年度	259,711,402	268,132,659	▲8,421,257
差 額	▲12,640,635	▲22,219,206	9,578,571

生活福祉資金貸付金(新型コロナウイルスの影響による特例貸付)返済(償還)免除申請書の受付のお知らせ

返済免除を申請できるのは、借受人または借受人と世帯主両方が非課税の方です。

高知県社会福祉協議会より返済(償還)免除のご案内が送付されます。同封されている“返済免除になるかどうかの確認方法”をよく読んで、申請書に必要事項を記入のうえ、必要書類を添え中土佐町社会福祉協議会へご提出ください。

※非課税とは、住民税の均等割・所得割のどちらも収める必要がないことです

申請期限 令和6年8月30日(金)まで

提出先 中土佐町社会福祉協議会

生活福祉資金特例貸付を償還中の皆様へ

【ご案内①】

去年が課税でも、今年は非課税でしたら、一部免除申請ができます。要件に該当する場合はご連絡ください。

要 件

・借受人及び世帯主の令和6年度の住民税が非課税(均等割も課税されていない)であること
※申請が出来ない場合や免除の対象とならない場合もありますので、あらかじめご承知おきください。

申請方法

・中土佐町社会福祉協議会へ連絡し、必要書類を提出してください。
(必要書類:申請書、住民票、非課税が分かる証明書の3点)

【ご案内②】

住民税が課税であり償還免除の対象ではなかったが、償還が難しい場合などは、今の状況をお伺いしたうえで、償還方法について相談などに応じておりますので、ご相談ください。

貸付期間中の厳守事項

次のような場合は、この貸付にかかわる大事な書類が届かなくなったり、社協からの大事な連絡が出来なくなったりしますのですぐに中土佐町社会福祉協議会まで届け出てください。

1. 住所を変更した時
2. 改名・改姓したとき
3. 連絡先(電話番号等)が変更になった時
4. 借受人が死亡・行方不明になった時

お問い合わせ 0889-52-2058

中土佐町社協では福祉用具の貸し出しを行っています

在宅での日常生活が安全・円滑に行えるようにお手伝いをしています。

また、この事業は社協会費を活用し実施しています。詳しくは社協窓口へ



貸出対象者

町内に住所があり社協会員世帯の方で、次のいずれかに該当する方、又は使用者を介助する方。

- ・介護保険サービスなどの他制度が適用外の方
- ・疾病、傷病等により一時的もしくは緊急的に福祉用具が必要な方

貸出期間

車いす：原則2か月以内
電動ベッド：原則2か月以内

利用料 無料

利用方法 申請書の提出



坂本一夫様よりお米をいただきました。
就労継続支援B型事業所で働いている利用者のまかないや福祉まちづくり施設(笹場)での昼食で提供させていただきます。ありがとうございます。



あったかふれあいセンター寄り家を利用されている方の作品第2弾。フェルトで作った紫陽花です。色鮮やかで1枚1枚丁寧につくられていて、目を楽しませてくれています。

「どらえもんⅡ」のみなさんよりご寄付をいただきました。長年にわたるボランティア活動に幕を下ろされたそうです。地域のおばちゃん、おじちゃん、の温かみを感じられる活動に心より感謝申し上げます。



「どらえもんⅡ」の活動おつかれさまでした

たくさんのご寄付をいただきました

(順不同・敬称略)

*プルタブ

秋山 れいこ 谷田 奈緒子 森岡 紅
原 多加子 おやまどり
匿名希望…数名



*切手

笹場スカッシュ
匿名希望…数名



*その他

どらえもんⅡ 坂本 一夫

皆さま、温かいお気持ちをありがとうございました♡大切にさせていただきます。

編集・発行

社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会

〒789-1301 高岡郡中土佐町久礼 6584-1 TEL:0889-52-2058 FAX:0889-59-0554

HP <http://www.nakatosa-shakyo.or.jp>

本紙は社協会費を活用して発行しています